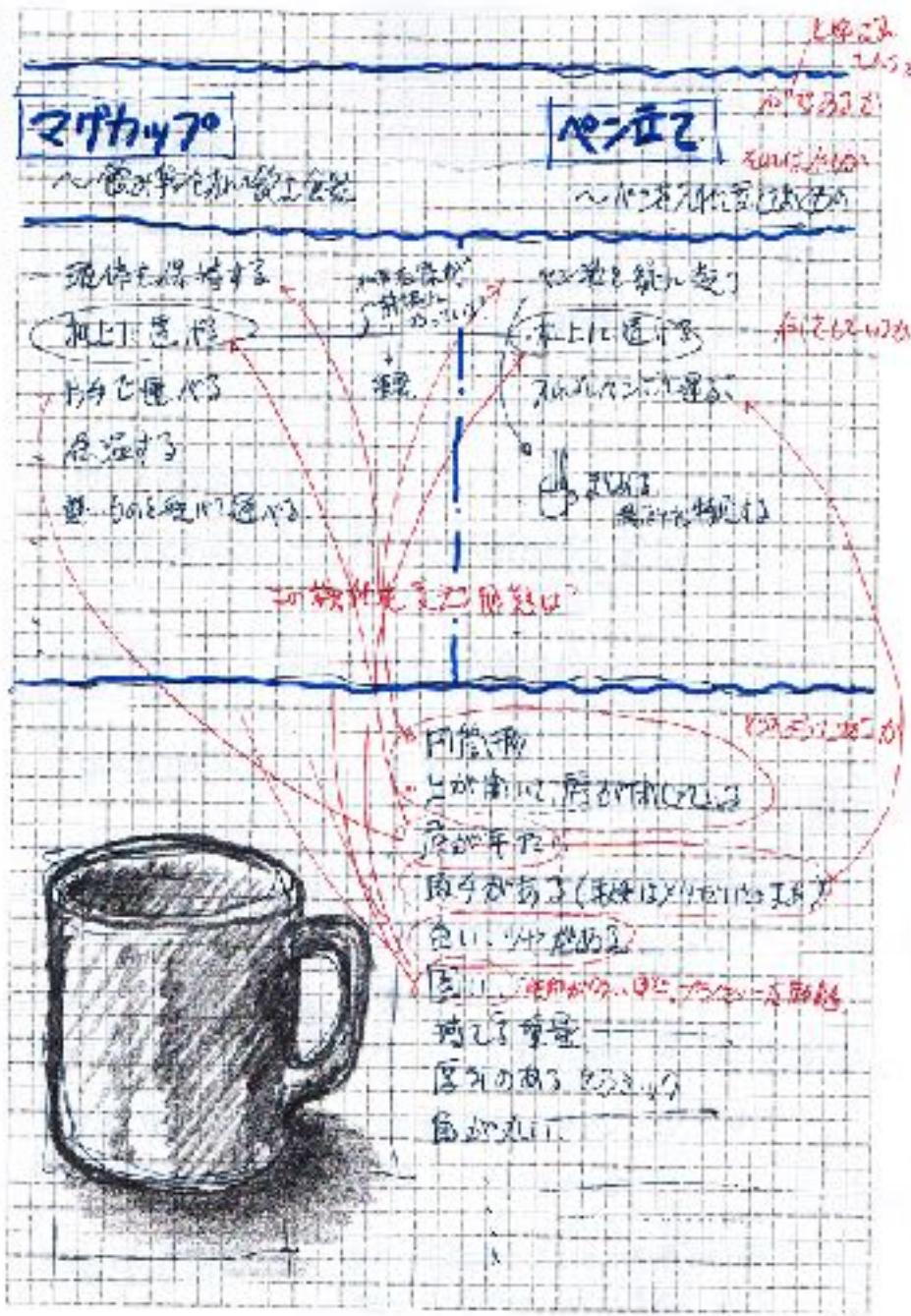


Personal Place Design

第3週：2018.4.23

未来の博物館



何であるか
意味

何をしているか（できるか）

機能

どのようにあるか
形態

何であるか

何と呼ばれているか

意味

何であると合意
されているか

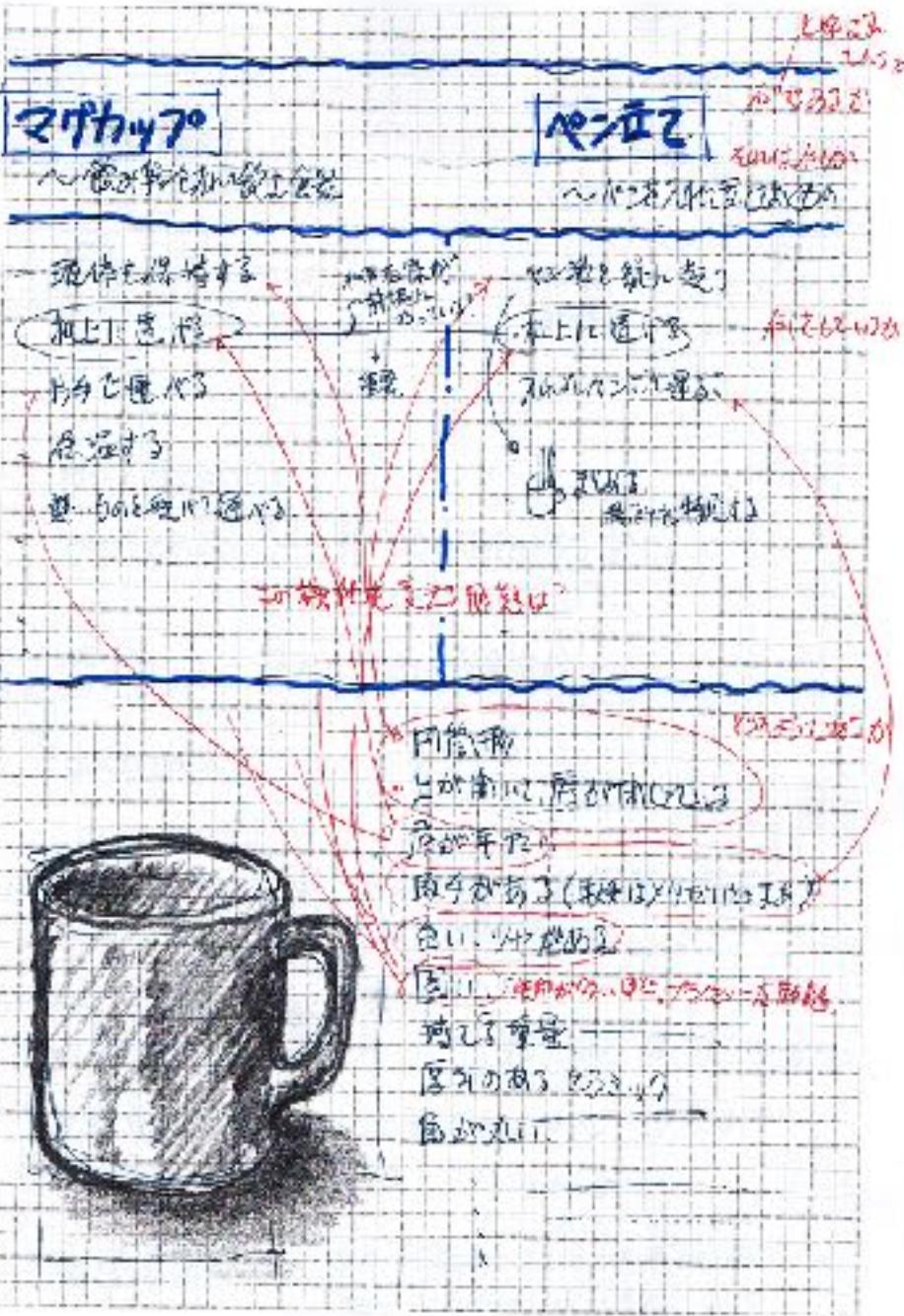
何をしているか（できるか）

機能

合意されているルールと
物体の形態の関係

どのようにあるか

形態



何であるか
意味

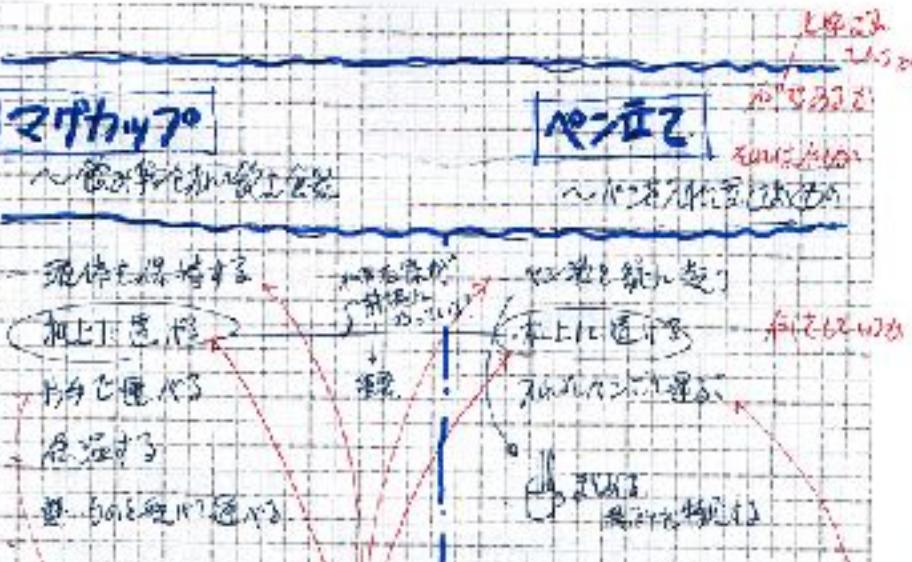
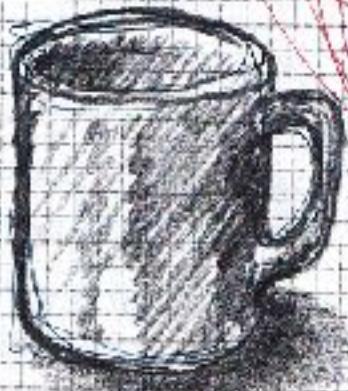
何をしているか（できるか）

機能

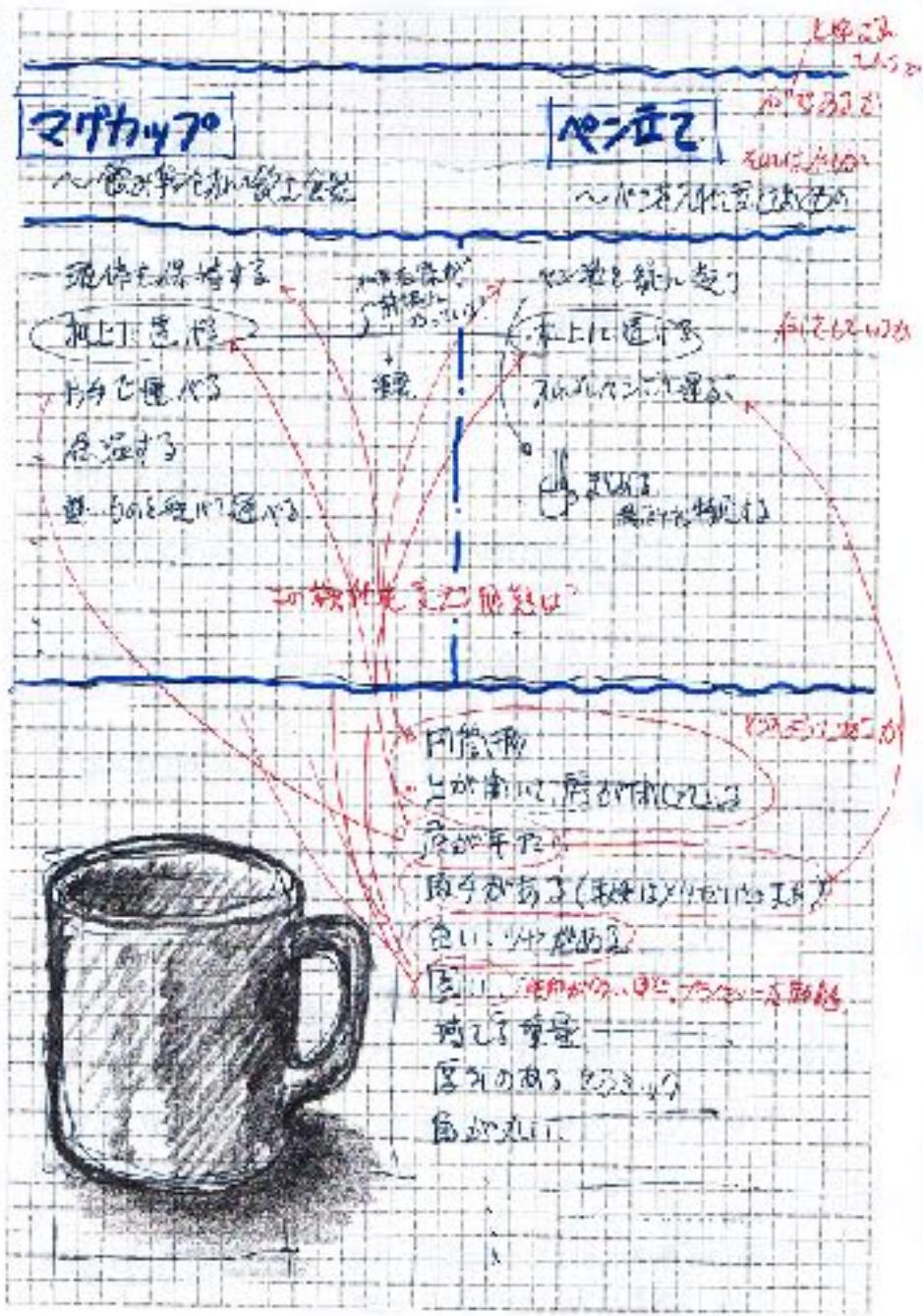
多く引用される「形態」ほど、
根源的な物体性であると言える

どのようにあるか
形態

物体性の「メニュー」 から引用



手が届く、手で触れる
手が取れる
手で扱える（手渡し）
色い、手で触れる
手で触れる、手で取れる
手で量る
手で取る、手渡す
手で洗う



**何であるか
意味**

何をしているか（できるか）

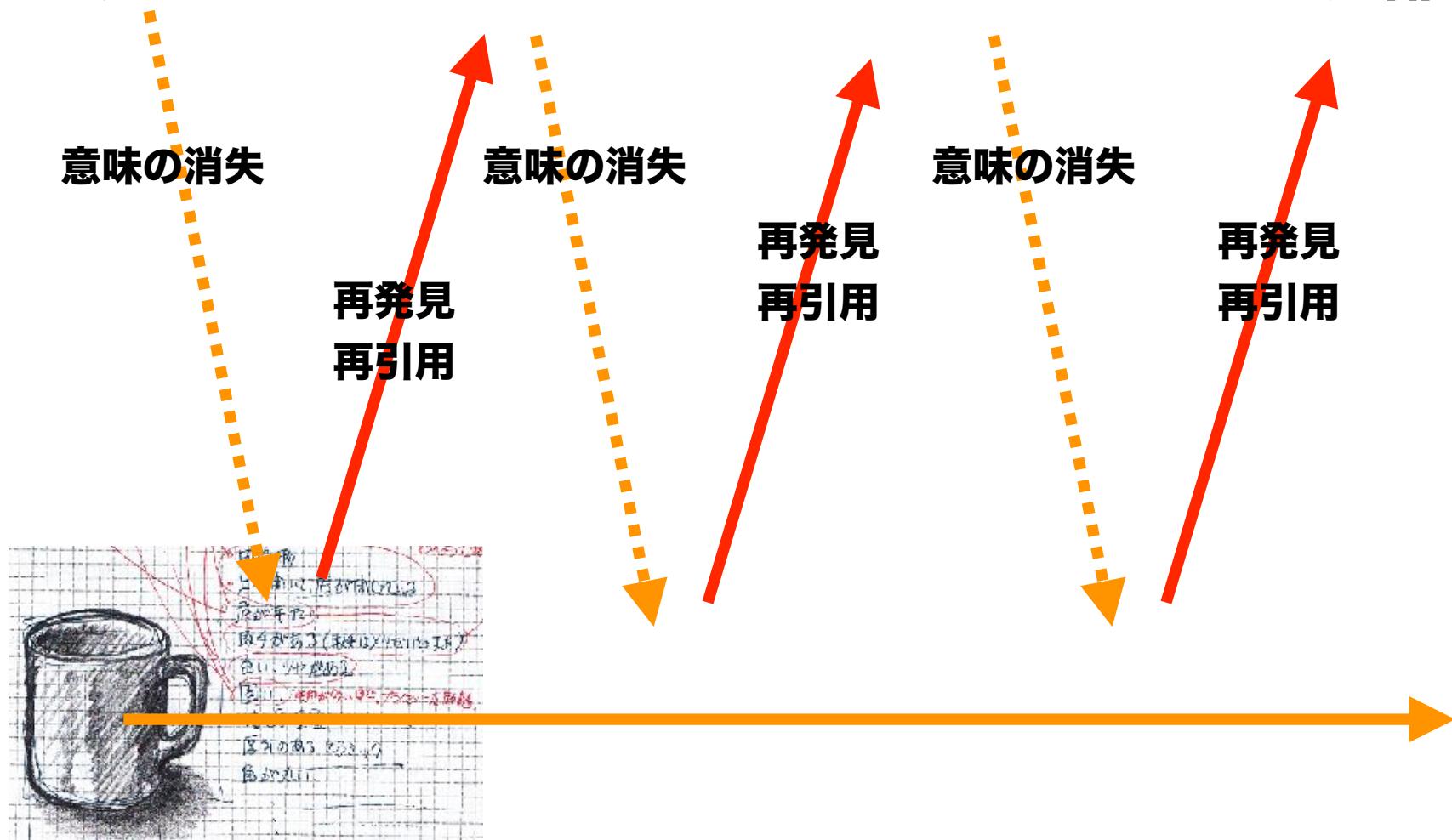
機能

**転用を契機として
物体性が再発見され
「再引用」される**

どのようにあるか

形態

マグカップ ペン立て ペーパーウェイト 鈍器

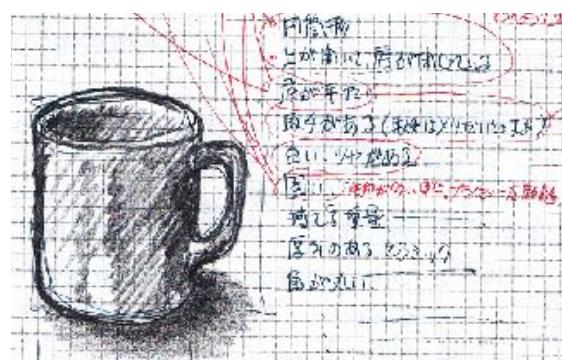


マグカップ

意味の無意識化
によって形態が
露わになる

意味の消失

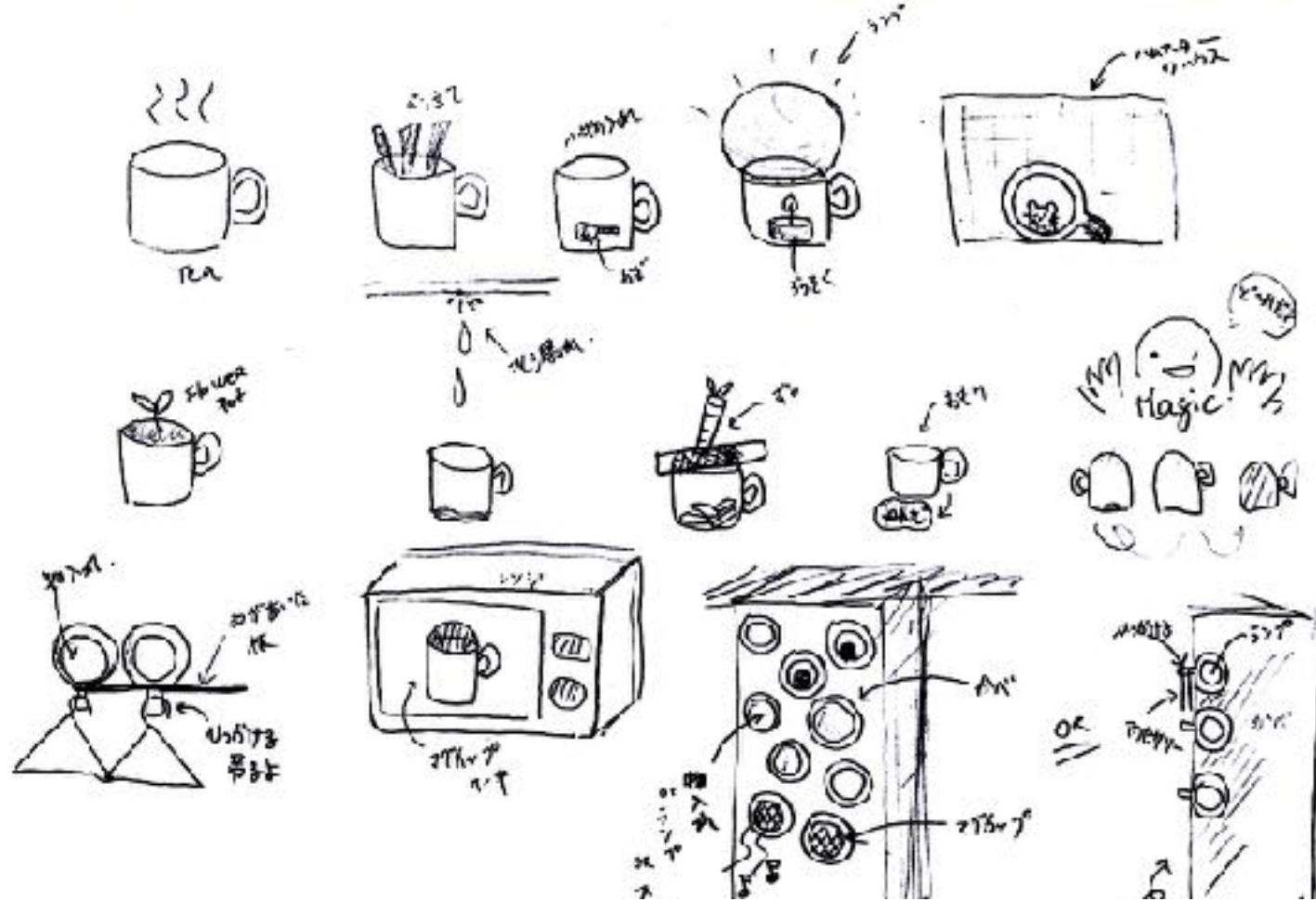
凶器を召喚する
緊急事態の到来



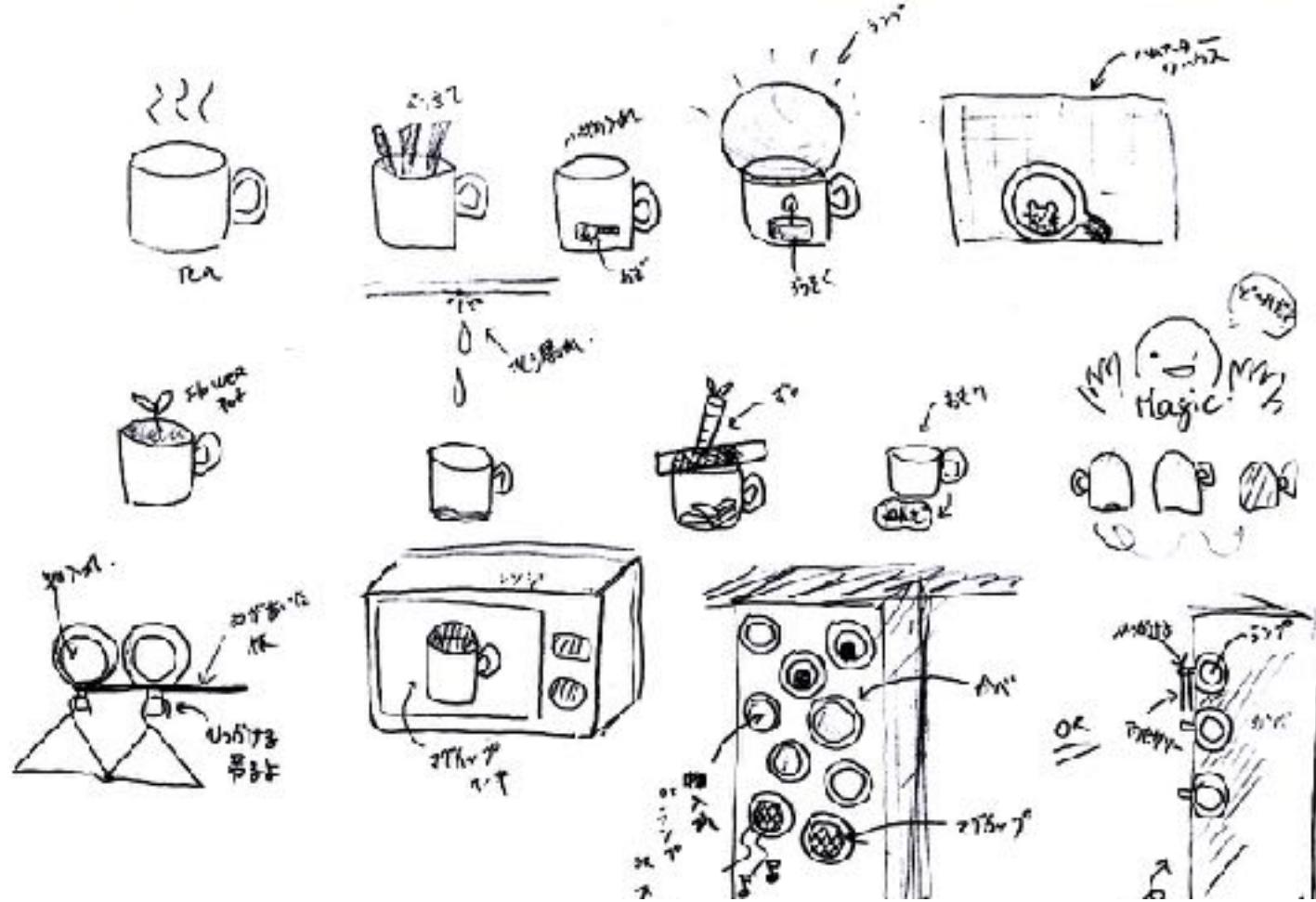
鈍器

事後的に説明される意味

鈍器的形態の発見と引用
(アフォーダンス論)



マグカップの形態の特殊性が転用のバリエーションを限定する
マグカップの形態の特殊性が転用を促す

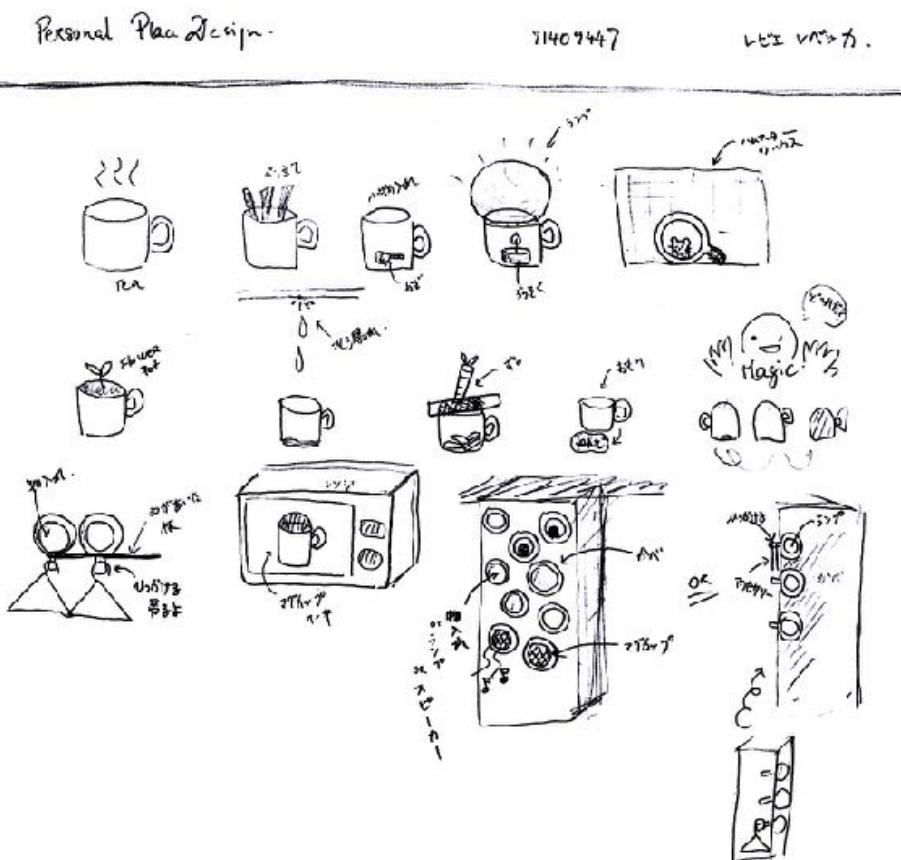


- 転用の可能性は
多様であるが有限である

- 転用の可能性は多様であるが有限である

- 他の事物との組み合わせによって可能性は増大・複雑化する

- ものに潜在する可能性の「有限さ」が固有性を支えている



1. 一般名、明示的シンボル

……例) 店名、所有者名の変更

2. 建築種、機能種

……例) 建築的機能の変更

〈転用される主要素〉

3. タイプ

(平面、構法)

4. 事物の物質的性能、
敷地条件

5. 法制度、社会的

コンテクスト

6. 潜在的コンテクスト、
固有名

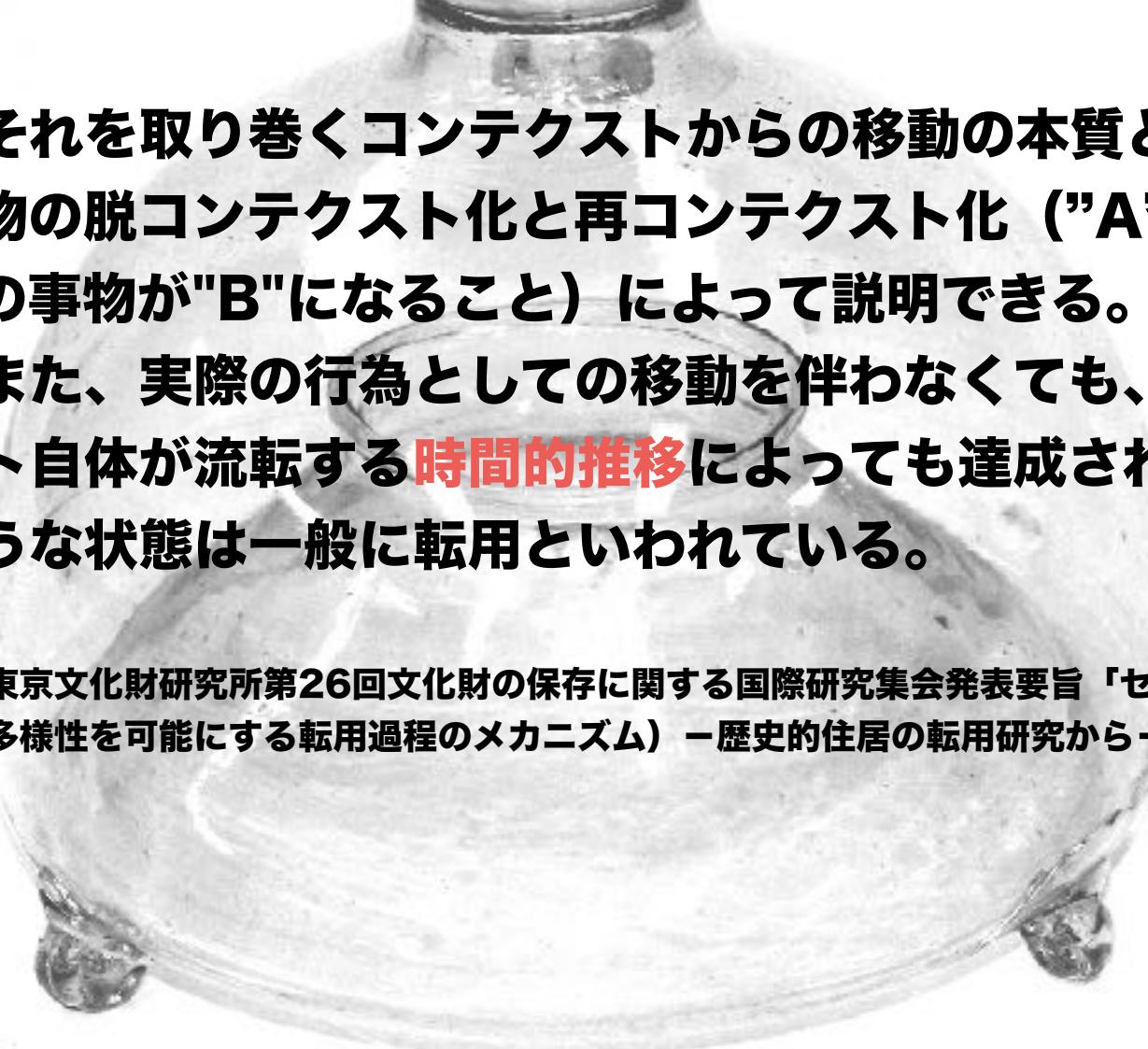
〈転用を支える限界性項目〉

用途

構成
環境
状況
固有名

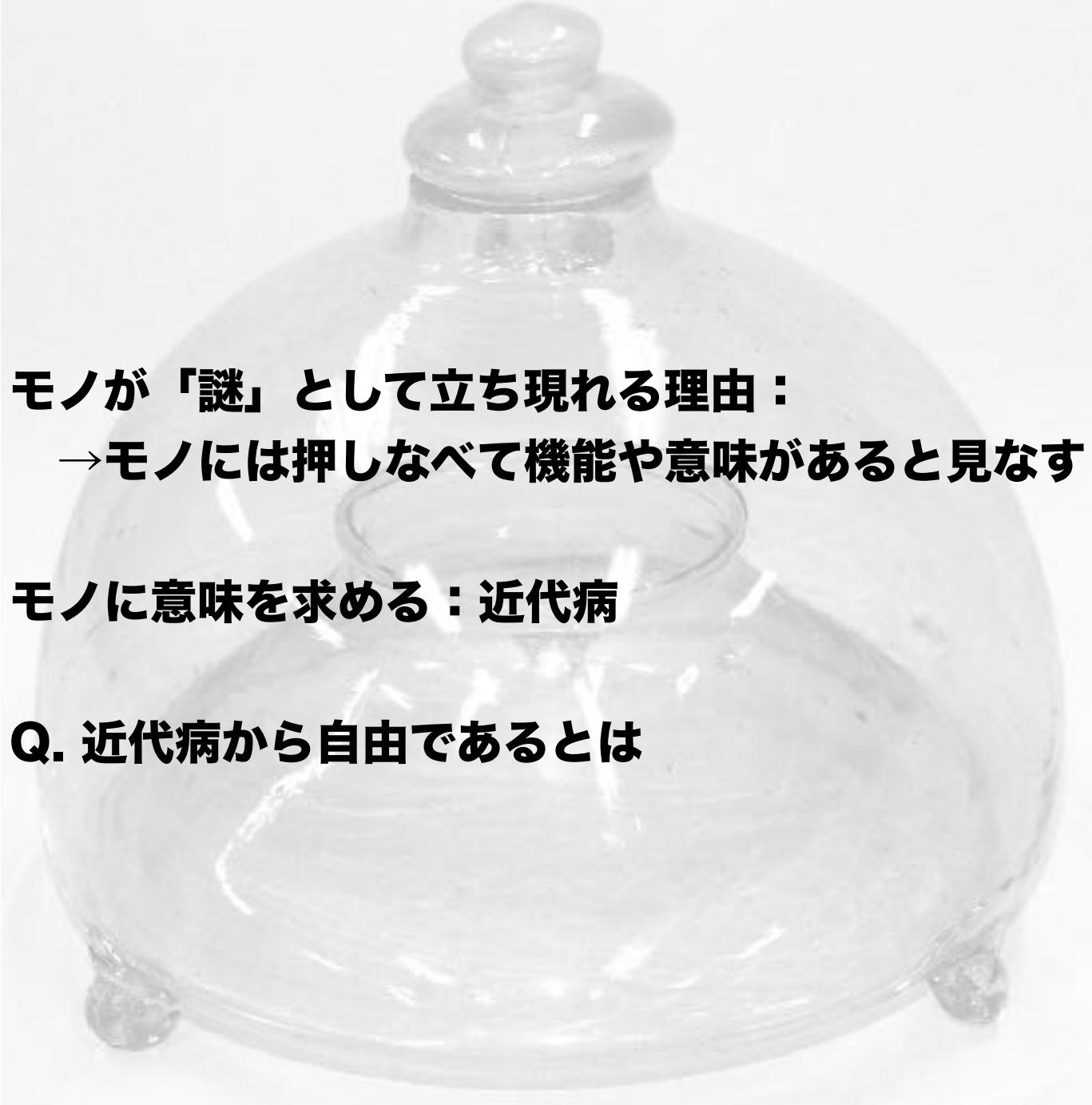
『事物を支える限界性項目』

出典：中谷礼仁「セヴェラルヌス 事物連鎖と都市・建築・人間」



物体のそれを取り巻くコンテクストからの移動の本質とは、ある事物の脱コンテクスト化と再コンテクスト化 ("A"であつたはずの事物が"B"になること) によって説明できる。これはまた、実際の行為としての移動を伴わなくても、コンテクスト自体が流転する**時間的推移**によっても達成される。そのような状態は一般に転用といわれている。

中谷礼仁 「東京文化財研究所第26回文化財の保存に関する国際研究集会発表要旨 「セヴェラルネス（事物の多様性を可能にする転用過程のメカニズム）－歴史的住居の転用研究から－」 2002



モノが「謎」として立ち現れる理由：
→モノには押しなべて機能や意味があると見なす

モノに意味を求める：近代病

Q. 近代病から自由であるとは

近代病から自由であるとは



近代病から自由であるとは

- ・道路の形態（物体性）
- ・忘れられた意味
- ・何と組み合わせることでこの多様さを獲得しているか
- ・事後的な説明



即日課題（練習）：

「座る人」

- ・教室の椅子**
- ・椅子に座る人**

宿題：

「座られている場面」

キャンパス内の、なるべく屋外で、人が何かに座っている場面を1例発見して報告して下さい。

写真を貼ってもよいが、説明するテキストやイラストを加えて、次週の授業時に提出してください。

- ・ そこで座られている事物（施設、装置、あるいは自然物など）と座っている人との関係において何が起きているか、『これまで授業で学んだ考え方や用語を用いて』観察、記述してください。
- ・ 座られている面や高さについて、寸法を計測してください。
- ・ A4サイズでないと受け取らない。スケッチブック推奨。
- ・ 写真撮影にあたっては、被写体となる人とトラブルのないよう、留意してください。できれば撮影の趣旨を説明し、理解を得て撮影してください。

Personal Place Design #3

TP45+mg 神野真実



"腰をかけうつもの"

友人とケブウェイで待ち合わせ。1コマ。

ケブウェイ外に位置するこの場所は、腰をかくすと丁度足が地面に着く高さになってしまい、腰をかくすうちもくつむいてから素朴な砂利を含むコンクリートで一日で体重をかいても壊れないことがわかり、安心して腰をくつむいてしまう。その堅さから長時間、例えは1日中座り続ければ場面にはまへもしやしない、足元は先生、目の前は鴨池という立地の為、心地よい場所となる。また、先生は洋服を汚してしまった可能性があるが、コンクリートはそのルビ配がよしということも腰をかくすと思う。かくすくなるかもしれない。

この場所は、写真奥山側から続く舗装路(厳密には舗装されていない)と整らされた道路と接続しており、バス停への通り道となることになります。この時間帯(13:30頃)は授業時間帯である為か、人通りが多少多くなる。

パーソナルプレイスデザイン ～座られている場面～

総合政策3年 71305640 土屋麻理



校内、鴨池の芝生と食堂からあがってくる通路
の間に存在する屏

